

**（仮称）大田区スポーツ推進計画（令和7～令和11年度版）（案）に係る
区民意見公募手続（パブリックコメント）に提出された意見要旨及び区の考え方**

No	分類	意見の要旨	区の考え方
1	スポーツ施設	テニスは年齢が高くなっても続けることができ、また人とのコミュニケーションを図ることで互いに尊重し合えるスポーツである。区内には臨海部や河川敷にテニスコートが設置されているが、雨天でも比較的早く乾く特徴のあるオムニコートは臨海部に集中している。河川敷にも天候の影響を受けにくいオムニコートの設置を検討してほしい。	本計画において、スポーツ環境の整備などについては、以下の箇所に方向性を記載しています。 【計画該当箇所】 P50基本目標2の1 （1）スポーツ施設の適切な管理運営 （2）スポーツ施設の計画的な整備
2	スポーツ施設	大田区総合体育館を優先的に利用している団体が多く、一般利用が難しい。「みるスポーツ」の観点も大事ではあるが、優先的に利用している団体と一般利用の適切なバランスをとることが必要である。	今後、優先利用と一般利用とのバランスを検討します。また、大森スポーツセンターも大規模なアリーナを有しているため、大田区総合体育館と合わせて利用バランスを検討します。 【計画該当箇所】 P17（2）①大田区総合体育館 ②大森スポーツセンター
3	スポーツ施設	スポーツ施設マップを見ると環八通りより内側、JRの北西側には東調布公園しかないことが一目瞭然である。スポーツができる施設や場所を大田区全体に偏りなく作ってほしい。	本計画において、以下の箇所に方向性を記載しています。また、令和6年11月17日に田園調布せせらぎ公園内に体育施設を新たにオープンしました。 【計画該当箇所】 P51基本目標2の1 （2）スポーツ施設の計画的な整備 取組例「将来的な需要を見据えたスポーツ施設の検討」
4	スポーツイベント	ラージボールは子どもから高齢者まで幅広い年齢層で卓球を楽しめるようにという目的で生まれた卓球の種目である。近年では全国大会が行われるようになり、参加者も増えてきている。大田区の卓球人口は多いが、年齢が上がると辞めてしまう人も多い。ラージボールは高齢者も取り組みやすい種目であり、大田区の施設には卓球台を備えている施設も多い。初心者向けラージボール教室の開催や、定期的に大会を開催するなど、ラージボールを普及してほしい。	本計画において、ユニバーサルスポーツについては、以下の箇所に方向性を記載しています。 【計画該当箇所】 P47基本目標1の4 （2）ユニバーサルスポーツの啓発・普及
5	スポーツイベント	せっかくたくさんスポーツイベントを実施しているので、年間を通して行事のスタンプラリーを行うなど、イベント同士の横のつながりを意識し、継続的なスポーツ実施につなげてほしい。	以下の取組例により、各イベントをつなげます。 【計画該当箇所】 P42基本目標1の2 （1）働き盛り世代のスポーツ習慣化促進 P45基本目標1の3 （2）スポーツ実施を習慣化させるための事業 取組例「健康ポイントアプリの活用」
6	スポーツイベント	子育て世代・ファミリー世代を主なターゲットとし、子供主体のイベントを実施してほしい。	本計画において、以下の箇所に方向性を記載しています。ランニング大会では「ファミリーラン」を実施するなど、親子でスポーツを楽しめる場を提供します。 【計画該当箇所】 P43基本目標1の2 （2）子育て世代のスポーツ参加機会の充実

**（仮称）大田区スポーツ推進計画（令和7～令和11年度版）（案）に係る
区民意見公募手続（パブリックコメント）に提出された意見要旨及び区の考え方**

No	分類	意見の要旨	区の考え方
7	スポーツ推進委員	第2章に記載されているスポーツ推進委員について、「連絡調整」と一言で書かれているが、近年ではコーディネーターの役割が重要視されているため、大田区ホームページに記載されているとおり「地域と行政及び区民相互の調整役（コーディネーター）」という文言を入れてほしい。	本計画の以下の箇所に、その旨記載します。 【計画該当箇所】 P21②大田区スポーツ推進委員
8	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の負担が大きすぎる。若い世代の加入が激減して、人材・人手不足が一番の問題 「やれるときにやれる人がやる」というような形態にできないか。 定員以外のサポート委員を募りたい 各事業実施時に募集するサポート委員制度を創設し、業務の分散化と専門化を図りたい。	大規模事業実施などの際、臨時のサポートメンバーとして、ボランティアスタッフを随時募集することなどを、今後の検討課題といたします。 【計画該当箇所】 P21②大田区スポーツ推進委員
9	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の組織・制度見直しを早急に考えていかないと、継続できない状況になる。	重要な課題として認識し、今後検討していきます。 【計画該当箇所】 P21②大田区スポーツ推進委員
10	計画全般	アンケート結果に基づき、課題を抽出し、その課題に応じた目標と施策方針になっていると思う。ただ、第3期スポーツ基本計画には3つの新たな視点が示されたとの記載があるものの、素案の後半には「する」「みる」「ささえる」という従来の視点のみしか記載がないため、新たな視点も大事であるというPRは必要だと思う。	本計画の以下の箇所に、本計画でも新たな3つの視点を活かして、施策・実施する旨記載します。 【計画該当箇所】 P34第3章1 基本理念
11	計画全般	①品川区の計画には「ICT活用」が明記されているが、大田区の素案にはICTという言葉が入っていない。ICTの活用を入れてもいいのではないか。 ②大田区の素案では、「地元企業や地域団体等」「地元プロスポーツチーム」という記載があるが、品川区の計画では、「商店街や地元メディア」の記載もあり、こうした単語もあった方がいいのではないか。	①本計画の以下の箇所に、「ICT活用」について、記載を加えます。 【計画該当箇所】 P62基本目標3の4 スポーツに関する広報・情報発信の充実 ②本計画の以下の取組例の中に、商店街や地元メディアも含まれます。 【計画該当箇所】 P61基本目標3の3 （2）地域に密着したスポーツ活動の推進 取組例「民間企業との連携」